



駒本の力

駒本小学校 (家)
 教育活動紹介便り
 校長 田中 克昌
 NO. 14
 平成27年12月1日

「どの子ども伸ばす、駒本の教育」 3

【構造化の取組】

授業の構造化とは簡単に言うと、授業の仕組みを子どもたちにとって分かりやすくし、活動に見通しをもたせるということです。そこには、具体的に4つの取組があります。

1. 学習過程の構造化 (1時間の授業を定型化)
2. 時間の構造化 (手順やスケジュール・経過時間)
3. ルールの構造化 (駒本スタンダード)
4. 場の構造化 (教室環境の刺激量の調整・すっきり感)

【学習過程の構造化】



1時間の授業を「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程で構造化するということです。これは現在、国語を中心としてほとんどの教科の授業において実施されています。実は、全員の教員が実施しているということは、すばらしく価値の高いことです。だれのどんな授業を受けても同じ構造で授業が進んでいくということは、まさしく、どの子どもにとっても安心して見通しをもって授業に取り組むことができるということです。

さらに、全校で同じ構造で授業が行われることで、学校の教育の質が向上し、教育の品質が保証されます。例えば、高級百貨店では、どの階のどんな商品でも一定水準以上の品質が保証されています。フロアや内部の店によって、品質がバラバラであったら、お客さんは安心して買い物をすることができませんし、その百貨店の信用（ブランド力）を維持することができません。品質の保証というのは、学校においてもとても重要なことなのです。

ただし、先日の教科公開講座の保護者感想で、「定型化することで、先生方の個性がなくないませんか？」というような意見がありました。たしかに、システム化、マニュアル化によって個性が埋没するのではないかと考えるは、自然な考えであると思います。しかし、全くそんな心配はありません。現に授業観察をしていると、それぞれの先生方の個性は遺憾なく発揮されているからです。空手や剣道で同じ流派の指導を受け、基礎の型を身に付けたからと言って、実際の試合では、同じ戦い方はしません。むしろ、基礎をしっかりと身に付ければ身に付けるほど、様々な技のレパートリーをもち、個々人の技能や特性に応じて、技を繰り出すことができるようになります。それこそ、個性が輝く戦い方ができるようになるようです。ただし、基礎の型を身に付けるまで、型をしっかりと守ることが大切です。日本では古来から道とつくもの全てにおいて身に付ける過程を「守破離」という言葉で表現しています。

< 続く >

大切な友達への一行詩にチャレンジ

11月の一行詩の取組は、「大切な友達へ」です。以下は子どもたちに示した説明です。「友達ってとても大切です。一緒に遊んでくれる友達。悲しい時にはげましてくれる友達。悩み事を相談できる友達。一緒にいるだけで笑顔になる友達。困っているときに手助けしてくれる友達。そんな大切な友達を、あなたは大切にしていますか？悪口を言ったり、からかったり、チクチクした言葉を言っていませんか？何気ない一言が友達を傷つけているかもしれません。あなたの大切な友達にあなたの心のメッセージを一行詩にして伝えてみましょう。」 子どもたちの作品を紹介します。

【1年生】

*いっしょに考えてくれてありがとう。きっとすてきなことができると思います。がんばります。

*おうちにかえったとき、友達がいて、ただいまって言ったら、おかえりって言って、だきついてくれてあったかった。

【2年生】

*友達をきずつけたとき、「ごめんね」と言った。友達は「いいよ、だいじょうぶ」と言ってきみは一生の友達だ。

*友達がくつをはいていて、友達は「ちょっとまって」と言ったから、まっていたら「ありがとう、まっていてくれて」と言われた。私は「こちらこそ、ありがとう」と言った。

【3年生】

*友達がいっしょに遊んでくれた。「ありがとう」と言ったら「どういたしまして」と返してくれた。心がさわやかになった。

*私がこまっている時、必ずだれかがそばにいてくれて、とってもうれしいよ。本当にありがとう。

【4年生】

*私には朝毎日いっしょに登校してくれる友達がいます。そして、いつも相談にのってくれたりします。ありがとう。

*友達にごめんねと言ったとき、いいよって言ってくれたので、うれしかったです。

【5年生】

*雨の日「先に帰っていいよ」と言ったのに、寒いげんかんでずっと待っていてくれた時にうれしくて、寒いげんかんがあたたかく感じられた。

*「一緒に帰ろうよ」と友達に言ったら、「うん、いいよ」と言ってくれた。なんだか心がポカポカした。

【6年生】

*友達といるだけで自然に心がホッコリしてくる。今だけじゃなくて、永遠に友達です。

*ぼくには一年生からの親友がいる。でも中学生になると、一緒にいることができなくなってしまいます。だから、それまでの時間は共に笑いたい。